

平成28年第1回総合教育会議議事録

(要 旨)

開催日 平成28年6月29日(水)

開催場所 名寄庁舎 大会議室

出席者 市長 加藤 剛 士
委員 長 梅野 潤 博子
職務代理 松田 公 一
委員 中尾 雅 樹
委員 高橋 浩
教育 長 小野

事務局職員 総務部長 白石 田橋 進
企画課長 石橋 川 毅
教育部長 小川 合 勇 人
学校教育課長 河合 谷 信 二
参事(指導主事) 金谷 石 昭
生涯学習課長 仙石 澤 徳 大 志
スポーツ・合宿推進課長 松村 山 美 介
智恵文公民館長 岡野 美 人
風連公民館長 中野 美 記
児童センター館長 芝田 清 人
北国博物館長 吉田 美 清 人
図書館長 鈴木 木 力 ヲ
天文台長 村上 上 恭 彦
給食センター所長 小笠原 弘
学校教育課総務係長 伊藤 藤 富貴子

傍聴者 なし

議 事 (1) 教育に関する「大綱」の策定について
(2) 風連中央小学校の改築について
(3) 当面する教育諸課題について
(4) その他

会議録（要旨）

進行：小川教育部長

- 1 開 会 午後3時30分
- 2 市長挨拶
- 3 教育委員長挨拶
- 4 議 事

※設置要綱第4条の規定により市長が議長を務める。

(1) 教育に関する「大綱」の策定について

〔教育部長〕 「大綱」については、第2次総合計画の教育・文化・スポーツ部門の各種施策をもって充てるとしてきました。総合計画は、部会等の議論をとおして9つの主要施策を持って構成する内容で検討が進められています。

〔議 長〕 意見はないか。

〈委員から出された意見〉

- ・義務教育の範囲に止まらず、幼・保から大学まで今までにない全体のつながりを持った「大綱」を策定することが大事になる。大学がどのように地域貢献できるのか、興味を持っている。
- ・家庭教育の推進については、重要な課題と考える。昨今の家庭学習への取組、食育、公的な物事に関する考え方など、価値観が変化してきている中、教育行政としてどのようにアプローチしていくのか、十分に検討願いたい。
- ・近年、地域のつながりが稀薄になっていると思う。困り感のある家庭を孤立させないことが大切で、コミュニケーションがきちんと取れる社会づくりが必要と考える。

(質 問) 第2次総合計画の策定スケジュールはどのようになっているのか。
(事務局) 現段階では、7月中に策定審議会から市長に答申を行い、パブコメを実施し、9月定例会中に議会に提案したいと考えている。

〔議 長〕 他に意見はないか。

———— 異議なく承認 ————

(2) 風連中央小学校の改築について

〔学校教育課長〕 施設規模は、普通学級6教室、特別支援学級4教室を想定して設計をし、敷地面積や将来的な負担を考え平屋建てとしている。

地域に開放可能な学校として、学校開放用の体育館はもちろんのこと、多目的スペースや学校図書館の地域への開放を検討しています。

〈委員から出された意見〉

- ・オープン教室ということで、掲示スペースを十分に確保して欲しい。
- ・学校図書室を地域に開放することは、大変良いことと考える。
- ・雪国という、この地域に順応した学校として欲しい。

〔議長〕他に意見はないか。

————— 異議なく承認 —————

(3) 当面する教育諸課題について

〈委員から出された意見〉

- ・現場で教職員の負担が増えていると感じている。教職員の加配もあるが、教職員以外の職員を配置して負担を軽減するなど、何らかの対策を講じて欲しい。

(事務局) 本市でも、特別学習支援員を配置するなど、教職員の負担軽減に向けた対応をしている。抜本的には、国で定めている県費負担教職員定数配置基準を見直すなど、国に対して働きかけていくことも必要と考えている。

閉 会 午後5時00分